

第54回高齢者排泄ケア講習会

日 時：平成30年3月24日（土）14:50～18:00

場 所：福岡国際会議場 4階 中会議室411+412

〒812-0032 福岡市博多区石城町2-1 ※裏面の地図をご覧下さい

参加費：2,000円 募集定員：120名 Field[※]：A、D

※ Field A：排尿管理 / Field B：排便管理 / Field C：感染対策 / Field D：その他（スキンケア・オムツはずし・認知症・介護・保険他）

詳細はホームページ「排泄ケア認定制度のご案内」をご参照ください。

テーマ：排尿自立に向けて

●情報提供「アレルギー性疾患治療薬 ビラノア錠 20mgについて」大鵬薬品工業株式会社（10分）

Opening Remarks：山口秋人 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 理事長）（10分）

座長：柳迫昌美 先生（原三信病院 看護部長）

講演：『排尿自立に向けての排尿ケアチームの関わり』（30分）

講師：宮川みどり 先生（原三信病院看護部 皮膚・排泄ケア認定看護師）

講師からのコメント：

「高齢者にとって日常生活レベルを維持・向上するためには排尿行動の自立が重要な意味を持つ」と言われています。高齢者は慢性的な疾患やADLの低下により排尿行動を維持することが困難となりやすい。当病院では排尿ケアチームを立ち上げ排尿ケアが必要な方に介入を行ってきました。排尿ケアチームの活動について事例を通して紹介します。

座長：武井実根雄 先生（原三信病院泌尿器科 部長）

講演：『排尿管理に必要な機能の評価について』（60分）

講師：高橋良輔 先生（独立行政法人労働者健康安全機構

総合せき損センター 泌尿器科副部長）

講師からのコメント：

適切な蓄尿量で尿意を感じる、トイレの場所を認識する、移動する、衣服を脱ぐ、便器へ一定量を排出する、後始末をして戻る。排尿行為はこれら一連の動作で成り立っておりいずれが欠けても問題となります。下部尿路を含めた排尿に必要な機能の評価について考えてみたいと思います。

～休憩～

座長：関 成人 先生（九州中央病院泌尿器科 部長）

講演：『清潔間欠導尿と尿道留置カテーテルを理解する』（60分）

講師：山下博志 先生（まえばる泌尿器科クリニック 院長）

講師からのコメント：

排尿自立のためにカテーテルフリーを目指すことは重要です。そのためには、尿閉患者の治療における清潔間欠導尿と尿道留置カテーテルの役割を、十分に理解する必要があります。今回はそれぞれの適応、治療法、合併症対策などについてお話しします。

Closing Remarks：今丸満美 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 副理事長）（10分）

共催：特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会、大鵬薬品工業株式会社

後援：福岡市泌尿器科医会、福岡市医師会、福岡県看護協会

NPO法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局（月曜～金曜 9:00～17:00 土・日・祝日 休）
〒812-0033 福岡市博多区大博町1-8 TEL: 092-282-5910 FAX: 092-282-5812

交通のごあんない Access & Area Map



車・バス・地下鉄利用

By Car, Bus or Subway



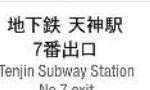
A 博多駅周辺MAP

Hakata Station Area Map



A 天神駅周辺MAP

Tenjin Area Map



福岡国際会議場周辺MAP

